

地域密着型金融推進計画（平成25年度）

当金庫では「地域密着型金融推進計画」として、コンサルティング機能を発揮した中小企業者や個人のお客さまの金融の円滑化、地域の面的再生への積極的な参画、地域の皆さまへの積極的な情報発信、皆様からのご意見の収集等に取組んでいます。

これらを実践していくために、本部と各営業店が一体で情報の共有化を図るとともに、お客さまの立場にたった適切な経営相談や経営支援等のため、役職員の知識向上に向けた研修会等を充実させています。そのうえでお客さまの声を可能な限り反映し、利便性等の向上に取組み、間柄重視の地域密着型金融の一層の推進を図ってまいります。計画の詳細につきましては、下記の計画内容等をご確認ください。

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		25年度上期実績	
<p>1.事業者であるお客さまに対するコンサルティング機能の発揮として、ライフステージ別に取り組む。</p> <p>(1) 創業・新事業開拓を目指す顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県産業支援機構の活用及び日本政策金融公庫、商工組合中央金庫との連携強化 ・制度融資の活用 ・発明協会との連携強化 <p>(2) 成長段階におけるさらなる飛躍が見込まれる顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチングの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業支援センター等の活用やベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化を図っていく。 ・制度融資を積極的に活用していく。 ・地域の発明協会等との連携を強化する。 ・しんきん会等を介したビジネスマッチングを積極的に進め、お客さまの製造販売商品の販路拡大等を図る。 		

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		25年度上期実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者塾的な組織の創設 ・ 異業種交流の研修会への積極的参加 ・ 海外進出など新たな事業展開に向けての情報の提供等 ・ 外部機関との連携 <p>(3) 経営改善が必要な顧客企業等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営改善が必要な企業に対する取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当地域のお客さまと東日本大震災の被災地域との連携、ビジネスマッチングを支援していく。 ・ 経営者の方への支援策として経営者塾的な組織の創設を検討していく。 ・ しんきん会会員を含め異業種交流研修会の参加への企画立案を積極的に図っていく。 ・ 信金中金との連携を強化して海外での事業展開や海外への販路拡大についての情報の提供等を行っていく。 ・ 引き続き群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等によりきめ細かにお客さまへのバックアップを行っていく。 ・ 農業分野について外部機関との連携を図り、その知見を活用しつつ、より適切なアドバイスができる態勢としていく。 ・ 経営目標の実現や経営課題の解決に向け、経営者が主体的に取組むための支援として、本部・営業店が連携して経営改善計画書の策定・再策定支援を地道かつ積極的に取組む。 ・ 経営改善支援の一環として、貸出条件変更が必要な場合は、お客さまの状況をきめ細かく把握したうえで条件緩和に積 		

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		25 年 度 上 期 実 績	
<p>・大口の設備資金融資先企業等への 期中管理の強化</p>	<p>極的に取組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の業況を把握し、継続したモニタリングを行いながら、 営業店と本部（融資部・経営支援室）が一体となり積極的な 経営支援を行う。 ・経営支援により債務者区分のランクアップを図るとともにラ ンクダウンの防止を図る。 ・群馬県中小企業再生支援協議会や群馬県中小企業診断士協会 等の外部機関と連携を強化し、関係する金融機関とも連携を 図る。 ・大口の設備資金融資先企業、経営改善計画策定先等につい ては、融資部と経営支援室・資産査定委員会で情報を共有する。 計画の進捗状況をお客さまとのヒアリング等により把握し、 計画を達成していくため支援を行っていく。 		

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		25年度上期実績	
<p>(4) 事業再生や業種転換が必要な顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業再生の早期着手に向けた取組の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 抜本的な事業再生や業種転換により、経営の改善が見込まれる企業に対しては、経営再建計画の策定支援を行う。 貸付の条件変更等を行うほか、群馬県中小企業再生支援協議会等連携先を活用する。また、取引状況等に応じ第二会社方式での再生やDDS等も検討する。 		
<p>(5) 事業の持続可能性が見込まれない顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の持続可能性の見極め 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に向けた経営者の意欲、経営者の生活再建、当該企業の取引先等への影響など、事業の持続可能性を慎重かつ十分に検討をする。 		
<p>(6) 事業承継が必要な顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業承継を企業の第6のライフステージとして位置付けた取組み 事業譲渡・譲受の積極的な相談業務の取組み 	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる事業承継のニーズに対応したサービスを行うため事業承継支援センター（群馬県産業支援機構内）等との業務提携により、事業承継ニーズのあるお客さまを紹介するなど、積極的に取組んでいく。また、引き続き(株)朝日信託との連携を図っていく。 しんきんキャピタル・等を活用して、ビジネスマッチング・事業承継等の支援を行っていく。(M&A含む) 		

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		25 年 度 上 期 実 績	
<p>(7) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種制度融資の積極的活用 <p>・経営者以外の第三者の個人連帯保証を求めないことを原則とする融資慣行の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担保・保証に過度に依存しない、キャッシュフローを重視した融資を推進していく。 ・県制度資金の小規模企業事業資金、群馬県経営サポート資金を積極的に活用していく。 ・市町村小口資金を積極的に活用していく。 ・平成 25 年 3 月に金融円滑化法は終了したが、これまでと同様にコンサルティング機能を発揮し、中小企業に対する円滑な資金供給に努める。 ・原則として経営者以外の第三者の個人連帯保証を求めないこととする融資慣行を確立していく。 		
<p>(8) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・目利き力向上等のための業界団体が行う研修への参加と研修受講者による金庫内研修の実施。 ・通信講座の受講、検定試験合格による資格取得を積極的に推 		

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		25 年 度 上 期 実 績	
<p>2.地域の面的再生への積極的な参画</p> <p>(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み</p>	<p>進ずる。特にファイナンシャルプランナーなどの資格取得により相談業務の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話力、折衝力強化のため毎月2回（4月、10月は除く）の自主勉強会の実施（現場力の強化、職員のレベルアップ）。 ・渋川市商店街の活性化及び個々の店の販売促進、併せて消費の拡大を図るため渋川商工会議所から発行されるプレミアム商品券への協賛（商品券の換金事務）、販売時の職員派遣を行う。 ・平成26年カレンダーも前年に引き続き地域の名所等をテーマとするよう検討し、地域振興の一助とする。 ・地方公共団体への融資スタンスとして、金額、期間等を勘案し積極的に対応する。 ・地球環境に配慮したハイブリッド車、電気、天然ガス自動車の購入資金については通常金利より優遇して利用者拡大に取り組む。また、ぐーちょきパスポート、交通安全協会会員証のいずれかを提示した場合はさらに優遇する対応を継続する。 ・ソーラーパネルなど太陽光発電・自然エネルギーによる発電 		

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 5 年 度 上 期 実 績	
<p>(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税理士による税務相談 ・ 金庫職員等による金融知識の普及 ・ 交通安全指導の実施 ・ 町内道路清掃活動への参加 ・ 地方公共団体等によるイベントや地元の祭典への積極参加 ・ 営業店の高齢者等対応店舗への改装 	<p>設備を行うための資金について通常金利より優遇するなど普及に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渋川広域ものづくり協議会との連携を図る。 ・ 毎週木曜日に本店で実施している税理士による無料税務相談を継続して実施していく。 ・ 金庫営業地域の小学生を対象にした金融知識の普及のための講話を行っていく。 ・ 登校時間に通学路の横断歩道に立ち、旗による誘導をし、子供たちの交通安全に寄与していく。 ・ 休日町内一斉に実施される道路清掃活動に積極的に参加する。 ・ 地方公共団体や中小企業団体等の地域的・広域的なイベントや渋川市の“へそ祭り”をはじめ各営業店所在地の祭典等に積極的に参加していく。 ・ 高齢者等の利便性向上を図るため、スロープやバリアフリー等の対応を検討していく。 		

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 5 年 度 上 期 実 績	
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターによる支援充実 ・がん検診普及のピンクリボン運動の実施。 ・全店へのAEDの設置 <p>3.お客さまや地域の皆さまへの積極的な情報発信・意見の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み等に関して、地域の皆さまに積極的に情報発信 ・お客さまのご意見の反映等 	<ul style="list-style-type: none"> ・役職員が修得した認知症サポーターとしての知識を実践していくことによりお客さま支援及び満足度の向上に継続的に取り組む。 ・がん検診の普及を目的としてピンクリボン運動を実施していく。 ・ご来店いただいたお客さまに万が一の事態が発生した場合には、迅速かつ効果的な救命措置を行うため全店にAEDを設置する。 <ul style="list-style-type: none"> ・当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて発信していく。 ・各営業店での日々の活動から得ることのできるお客さまの要望等を本部、営業店で共通の情報として把握することにより適切でニーズに合った提案を行う。 ・頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていく。 		